



# Web Fairy Paradise

**第52号**

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第46回 WFP フェアリー作品展(再掲)
- ・ 第47回 WFP フェアリー作品展
- ・ 第60回 推理将棋出題
- ・ Fairy of the Forest #33

結果発表

- ・ 第45回 WFP フェアリー作品展
- ・ 第59回 推理将棋出題

読み物

- ・ なし



**2012/10**



16日～18日にかけて新居浜市では新居浜太鼓祭りが開催された。新居浜太鼓祭りは、秋の豊作などを祝い、新居浜市内各地で執り行われる秋祭り(祭礼)である。祭りのメインは、太鼓台と呼ばれる神輿に供奉する巨大な山車の練り歩きである。新居浜の太鼓台は巨大で絢爛豪華である。高さ約5.4メートル、長さ約11メートル、重さ約2.5トンにもなる太鼓台を、総勢150人ほどの「かき夫」と呼ばれる担ぎ手たちが担ぎ上げる(一人約20kg弱の負担)。期間中各地区で「かきくらべ」が行われるがこれがこの祭りのメインイベント。天高く担ぎ上げる「さしあげ」や、房の割れ方、地面に降ろさずに担ぎ上げている耐久時間などのパフォーマンスを競うのだ。

この期間中は、会社の大半がお休みになり、学校も最終日は休みになる。広島から引っ越してきた時には驚いたものだが、今ではすっかり常識化してしまった。ただ地元生まれでないのでもそんなに思い入れもなく、自地区には太鼓台がない(写真は庄内太鼓台で私が住んでいるのも庄内町ですが、部落分けすると私の地区は高木地区となる)ため単なる傍観者になっている感じだ。期間中2日は仕事(坂出市)で出たが1日休みで1回だけかきくらべを見ることが出来た。目の前で迫力は見た人にしかわからないほどだろう。ぜひ一度祭り期間中に新居浜へお越し下さい。

### 【募集】

#### 作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

#### 読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

#### 感想

第52号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：[takuji@dokidoki.ne.jp](mailto:takuji@dokidoki.ne.jp)

---

#### 協力いただいている方々のHPアドレス

\*ご協力感謝します

##### 妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

##### 詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

##### 詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

##### Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

##### K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

イラスト・素材提供：幻想素材サイト First Moon

<http://www.first-moon.com/>

\*表紙のイラストを使用させて頂いております。

## 第46回WFP作品展(再掲)

### 第47回WFP作品展出題 担当：神無七郎

少し気が早いですが年賀状の話。

筆者は一時期、詰棋人向けと一般向けの年賀状を別に作っていました。詰棋人向けには詰将棋を入れた年賀状を、一般人向けには詰将棋の代わりに、虫食算や覆面算を入れた年賀状を作っていたのです(それでもかなり一般向けから逸脱していますが…)。例えば「Y2K問題(2000年問題)」を目前にした1999年の暮れにはこんな覆面算を作りました。

$$Y2K \times Y2K = \text{今年は} Y2K$$

覆面算を簡単に作る「手筋」の一つに、同じ文字を何度も使うという方法があります。上の問題は「Y」と「K」を3回も使っているのも、右辺の上3桁はほぼ自由に(YとK以外なら何でも良い)言葉を当てはめられました。

ただ、同じ文字を3回も使うのはちょっと多過ぎですね。重複使用を控え、せいぜい2回までに制限したいところです。

例えば再来年の2014年はウマ年ですから、それにちなんでこんなネタを考えたとします。

$$ウマ \times 子ウマ = 2014$$

残念ながらこれは覆面算として成立しません。これは右辺の14を見た瞬間に分かります。下二桁は「ウマ」の二乗になりますが、平方数の下二桁は次の22通りしかありません。

00、01、04、09、16、21、24、25、29、36、41、44、49、56、61、64、69、76、81、84、89、96

14はこれに含まれませんから、この覆面算は成立しないのです。22通りを憶えるのが面倒だという人は次の豆知識を憶えてください。十の位が奇数(1,3,5,7,9)の時、一の位は必ず6になります。14はこの法則に反していますから、この覆面算は「不詰」です。

なお、例として2014年を使ったのは2013年だと下一桁だけで平方数でないことが分かってしまうからです。(平方数の下一桁は0,1,4,5,6,9の6つです。)

あいにく当時はそうした「手筋」を知らず、結構無駄な計算をしながら覆面算や虫食算を作っていました。計算自体は関数電卓や表計算ソフトを使えば楽できますが、どのような問題を作るかという方針を立てるとき、「手筋」は大い

に役立ちます。詰パラにも「虫食算研究室」のコーナーがありましたが、紙数が限られているせいか、初心向けに「手筋」を紹介する記事はありませんでした。「手筋」は自分で研究して身に付けるしかなかったのです。つまり自給自足ですね。マイナーな趣味の世界はどこも似たりよったりです。

さて、自給自足といえばフェアリーの世界も同様。次から次へと新しいルールや見慣れないルールが出てくるので「手筋」の蓄積が追いつきません。第47回出題は短編特集の様相を呈していますが、一部の素直な問題を除いて一癖も二癖もある作品ばかり。問題数も多いので、早目の解図開始をお勧めします。ただ、前回の再掲となる第46回の方が締切は早いので、こちらはもっと早めに解図に取り組んでください。

#### 〔第46回作品展各題への補足説明〕(再掲)

**46-1**はクイーン(Q)を使った作品。Qを詰めるわけではなく、通常通り玉を詰まします。盤上にある3枚のQ以外は通常の使用駒で解いてください。

**46-2**は「取禁」の条件が付いていますが、「詰み」の概念は通常通りです(駒が取れないことを前提とした「詰み」ではありません)。手順中に駒取りのない解を求めてください。

**46-3**はsoga氏によるツイン。安南協力詰ですが、通常の安南と、「行き所ない駒を発生させてはいけない」という条件の安南の2つを解いてください。前者をB式安南、後者をA式安南と呼ぶ場合もありますが、ここではその呼称をしません。(理由は結果稿で詳述したいと思います。)

**46-4**もsoga氏によるツイン。WFP17号で企画募集した「果報は寝て待て」の変種です。同じ図をa)「通常」(攻方から開始)とb)「受先」(受方から開始)のそれぞれで解いてください。a)「通常」の方は受方の持駒制限は不要ですが、分かり易いよう同じ図にしてあります。

**46-5~7**は小林看空氏によるクイーン(Q)を詰める打歩協力詰シリーズの続編です。狙いが分かり易いので、第45回の3題より解きやすいと思います。難易度を考慮して13手の方を先に、11手の作の方を後にしています。なお、**46-6**には受方持駒に制限があります。

**46-8~10**はたくぼん氏の強欲協力詰。本誌の読者であれば、作者名とルールを聞いただけでどんな作品か予想できるでしょう。趣向手順を中心に構成されているものが多いので、強欲ル

ールは初めてという方にもお勧めです。

〔第47回作品展各題への補足説明〕

**47-1** はクイーン (Q) と角を使い、ナイトライダー (夜) の性能になった玉を詰める作品。ナイトライダーは八方桂の方向に走る駒、Qは飛+角の方向に走る駒、そして角は斜めに走る駒と、走る駒づくしです。たった3手ですが、頭がクラクラしそうですね。「受方持駒なし」なので詰上りは… (以下自粛)

**47-2~4** は対面・背面の協力自玉スタイルメイトです。対面はごく易しい入門編。背面は少し難しくなります。

**47-5~7** は「側面」という珍しいルール of 協力自玉詰。「側面」は敵駒が横にあるとその駒の利きになるというルールです。両脇に敵駒があれば合成した利きになります。協力詰でない「側面詰」の例が過去に2作発表されていますが、そのうち1作を紹介しします。

〔側面詰の例〕佐藤伸夫作 (「将」1993年7月)

側面詰1手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					王				一
					王				二
				桂		桂			三
				王	歩				四
				香					五
									六
									七
									八
									九

持駒なし  
43歩生 まで1手

初形で44歩は金の性能ですが、普通に歩を突き出します。ただし、43歩成とすると、桂や銀が「と金」の利きになるので、同銀や同桂で逃れます。43歩生で歩は銀と桂を合成した利きとなり、玉の逃げ場はありません。また54金がないと43歩生に対して54銀とし、歩が桂の性能になって逃れます。

なお47-6はツインです。なるべく両方の解を求めてください。(片方だけでも解答成績には加算します。)

47-8は、クイーン (Q) の利きになった玉を詰める問題。fmの駒詰ではQだけ「クイーン

協力詰」と表示されるのですが、ここでは「クイーン王協力詰」と表記を他に揃えました。

47-9は「背面キルケ打歩協力自玉詰」という何とも長い名前ですが、その名前に負けない内容のある作品。貴方は作者の狙いを見抜けますか?

47-10はこれまた珍しい「限定」ルール。駒を余らせず、指定手数で詰めよ、いうものです。指定手数より短くてもいけません。

〔限定協力詰の例〕神無太郎作

(Online Fairy Mate 1999年8月8日)

限定ばか詰7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
					銀	銀	銀		五
						香	香	香	六
								王	七
									八
					金	香	王		九

持駒 角2 金桂

27金 同玉 49角 38歩 19桂 17玉

28角 まで7手

山のようにある1手詰や3手詰をことごとく無視して持駒を使い切ります。そして4手目の限定歩合が何とも渋い一着。逆王手も掛からず、横にも利かず、8段目にも打てる駒は歩だけなのです。(ルール名は発表時のものです。)

指定の手数以内に持駒を使い切れなくて、まるで会計年度末に予算を余らせないよう四苦八苦するお役所の話みたいですが、持駒の節約に慣れた解答者の皆さんも意外と苦労するかもしれません。

解答要項

解答締切:

第46回: 2012年11月15日(木)

第47回: 2012年12月15日(土)

宛先: janacek789@ybb.ne.jp

メールの件名に「解答」の語句を入れてください。

作品投稿について

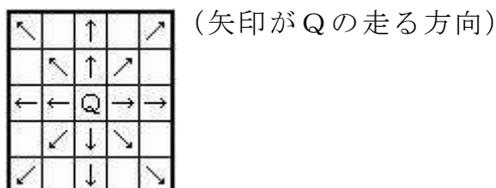
作品投稿は随時受け付けます。(原則として毎月15日の投稿まで当月号に掲載します。)

宛先は解答と同じ [janacek789@ybb.ne.jp](mailto:janacek789@ybb.ne.jp) へ。  
メールの件名に「作品投稿」の語句を入れて  
ください。添付ファイルも可。f m 検討済み  
なら.fmo 形式のファイル添付を推奨します。

## ルール説明

### 【クイーン】

チェスのクイーン (Q)。飛車と角を合わせた性能を持つ。



### 【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

### 【対面】

敵駒と向かい合ったとき、互いに利きが入れ替わる。

### 【取禁】

手順中に駒を取る手があってはならない。

「詰み」や「王手」の概念は通常通り。

### 【安南】

味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる。

### 【打歩】

打歩詰以外の詰手を禁手とする。

### 【異王 (X/Y)】

攻方の王が X の性能、受方の玉が Y の性能になる。

(46-5~7 では攻方王は王のまま、受方玉が Q の性能になっている。)

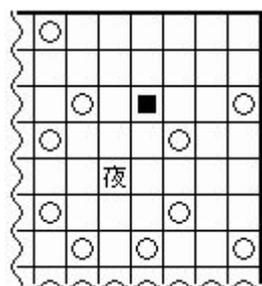
### 【強欲】

駒を取る手を優先して着手を選ぶ。

### 【ナイトライダー】

フェアリーチェスのナイトライダー (夜)。

ナイトの利きの方向に連続飛びができる。



(○がナイトライダーの利き。■に駒があるとそこから先には利かない。)

### 【協力自玉スタイルメイト】

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイト (王手は掛かっていないが合法手のない状態) にする。

### 【背面】

敵駒と背中合わせになったとき、互いに利きが入れ替わる。

### 【側面】

敵駒が横にいると、その駒の利きになる。複数の駒がある場合は、それらの利きを合成した利きになる。

### 【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

### 【キルケ】

駒取りがあったとき取られた駒が、最も近い将棋での指し始め位置に戻される

### 【限定】

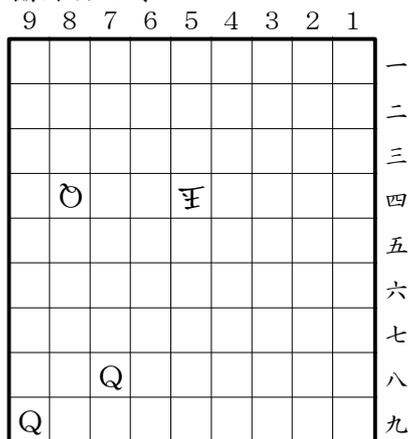
駒を余らせず、指定手数で詰める

《第 46 回 WFP 作品展》

解答締切：2012 年 11 月 15 日 (木)

#### ■ 46-1 変寝夢氏作

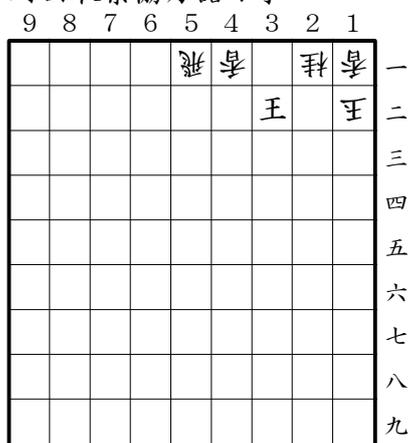
協力詰 3 手



持駒 なし

#### ■ 46-2 神無太郎氏作

対面取禁協力詰 7 手



持駒 飛香2

■ 46-3 sogas 氏作

安南協力詰 3手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 金銀

- a) 通常の安南
- b) 行き所のない駒の発生を禁止する安南

■ 46-4 sogas 氏作

打歩協力詰 5手&28手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

攻方持駒なし  
受方持駒歩

- a) 打歩協力詰 5手
- b) 打歩協力詰 (受先) 28手

■ 46-5 小林看空氏作

打歩異王 (王/Q) 協力詰 13手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 桂歩

■ 46-6 小林看空氏作

打歩異王 (王/Q) 協力詰 13手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

○										一
	飛									二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

攻方持駒香  
受方持駒なし

■ 46-7 小林看空氏作

打歩異王 (王/Q) 協力詰 11手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 なし

■ 46-8 たくぼん氏作

強欲協力詰 79手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

	と								と	と	一			
駒									歩	歩	と	二		
歩									科	科		三		
									王			四		
と	香		香	歩	香		香				桂	五		
と	と		と	と	と		と		と		銀	六		
									桂	駒		と	七	
と									龍	飛	駒	と	八	
	歩								歩	角	歩		と	九

持駒 なし

■ 46-9 たくぼん氏作

強欲協力詰 81手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	全	全	全							一
	歩	歩	歩							二
		金	歩						香	三
金			香	飛		歩	歩	王		四
			香	香		飛		桂		五
				銀	角	歩				六
				歩	歩	歩	角	金		七
	歩	歩	歩	歩	歩			金		八
			桂	桂	桂	歩	歩	歩		九

持駒 なし

■ 46-10 たくぼん氏作

強欲協力詰 79手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
と	と	銀				銀		王		一
歩			銀					歩		二
歩			桂				と	歩		三
飛			銀					王		四
と					と					五
歩										六
	歩	歩	香	歩	と					七
桂	金	歩	歩	王	歩	歩	歩	王	角	八
		金	馬	歩	香	桂	香		角	九

持駒 なし



(黄花コスモスとヒヨウモンチョウ:津之江にて撮影)

《第 47 回 WFP 作品展》

解答締切: 2012 年 12 月 15 日 (木)

■ 47-1 変寝夢氏作

ナイトライダー王協力詰 3手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										一
										二
										三
									桂	四
										五
										六
										七
										八
										九

攻方持駒 Q 角

受方持駒 なし

■ 47-2 神無太郎氏作

対面協力自玉スタイルメイト 6手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										一
										二
										三
										四
					王					五
										六
										七
										八
										九

持駒 桂2

■ 47-3 神無太郎氏作

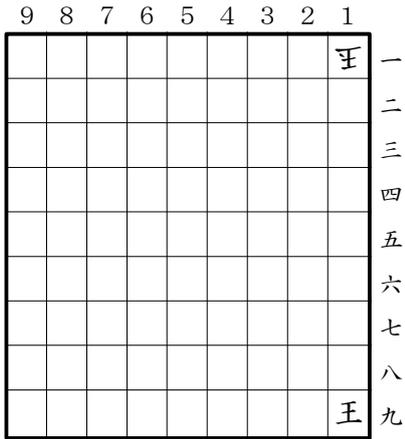
背面協力自玉スタイルメイト 6手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										一
										二
										三
										四
										五
										六
						王				七
										八
									王	九

持駒 金香

■ 47-4 神無太郎氏作

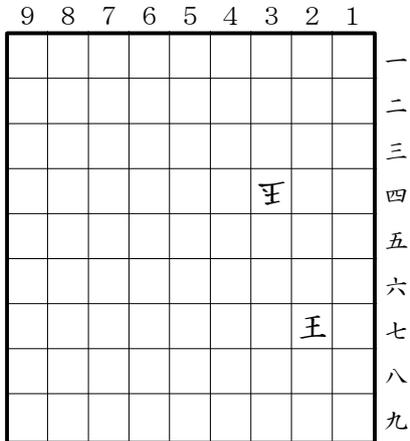
背面協力自玉スタイルメイト 6手



持駒 飛角香

■ 47-5 神無太郎氏作

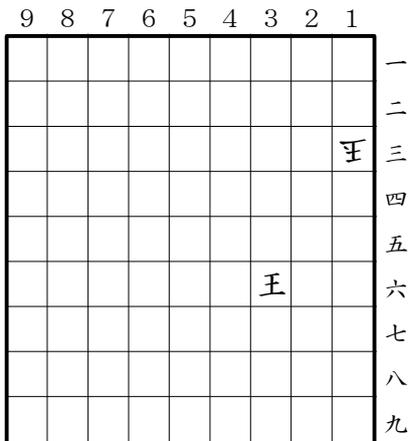
側面協力自玉詰 6手



持駒 香

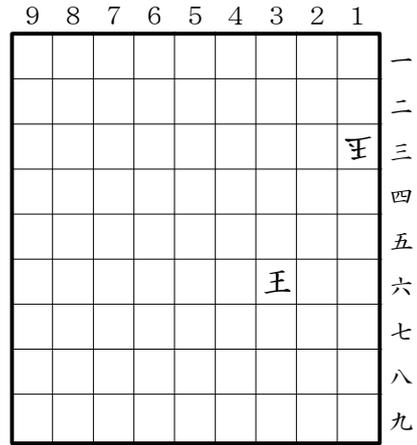
■ 47-6 神無太郎氏作

a) 側面協力自玉詰 6手



持駒 桂

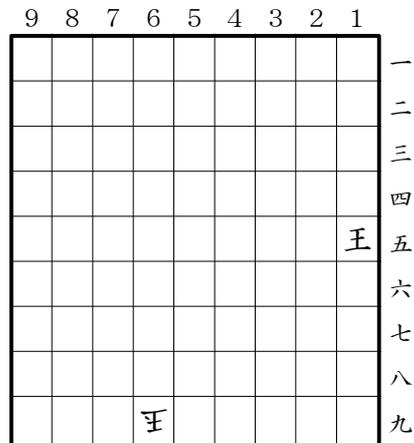
b) 側面協力自玉詰 6手



持駒 香

■ 47-7 神無太郎氏作

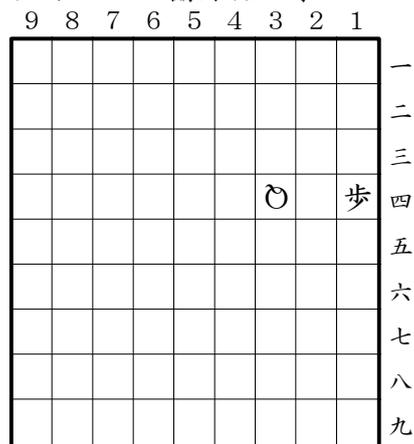
側面協力自玉詰 6手



持駒 角

■ 47-8 上谷直希氏作

クイーン王協力詰 7手



持駒 金桂2

■ 47-9 上谷直希氏作

背面キルケ打歩協力自玉詰 8手

		王							
							王		
									角

持駒 飛2

■ 47-10 たくぼん氏作

限定協力詰 9手

			歩	歩					
		歩	銀	金					
	金	桂	銀	香					
金	桂	玉	飛	香					
	歩	又	桂	歩					
		飛	馬	銀					
		角	又						

持駒 金銀桂香歩

**WFP 作品展：年末年始の予定**

1月は「氾濫」の結果稿作成と重なるため、12月号の出題と翌年1月号の結果稿はお休みさせていただきます。

月	出題稿	結果稿
11月	第47回（再） 第48回	第46回
12月	お休み	第47回
2013年 1月	第48回（再） 第49回	お休み
2月	第49回（再） 第50回	第48回

この予定は投稿数が今の水準で推移することを仮定したもので変更もあり得ます。また、11月15日より後の投稿は、翌年の出題となりますので、あらかじめご承知おきください。

以上

## 推理将棋第60回出題 担当：DD++

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第60回出題です。はじめての方は

どんな将棋だったの？ - 推理将棋入門

([http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post\\_53f2.html](http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html)) をごらんください。

解答、感想はメールで2012年10月20日までにTETSUまで

([omochabako@nifty.com](mailto:omochabako@nifty.com)) メールのお題名は「推理将棋第60回解答」をお願いします。

### 推理将棋第60回出題 担当 DD++

第60回は、チャンプさんから3題セットで投稿された問題です。3題共通の条件として、指し将棋なら「取る一手将棋」、フェアリー詰将棋では「強欲」と呼ばれる条件が設定されています。それは、駒を取る合法着手が存在する場合は必ず駒を取らなければならない、というもの。駒を取る手が複数ある場合はそのうちどれを指しても構いません。もちろん駒を取る手がない場合は自由に着手できますから、駒を取れる局面が一度も生じないと強欲なのに全く駒取りが発生しないという事態も起こりえます。

上級がかなりの曲者ですが、それを補うように初級中級で強欲ならではの着手を学べるような問題として構成されています。まずは最初の2問の解答を目指しましょう。先手だけ強欲という条件は13-1でも出題されているので、そちらもご参考に。

#### ■練習問題

「さっきの将棋、▲56歩△52金左▲55歩△54歩▲同歩まで見てたけどどうなった？」

「成る手なく9手で詰んだよ、って言えば残りの4手は分かるよね」

さて、残りの4手はどんな手だったでしょうか。

#### ■本出題

##### 60-1 初級 チャンプさん作 取る一手将棋!? (その1) 9手

強欲推理将棋ならではの6手目がポイント。

##### 60-2 中級 チャンプさん作 取る一手将棋!? (その2) 10手

強欲推理将棋ならではの5手目と9手目がポイント。

##### 60-3 上級 チャンプさん作 取る一手将棋!? (その3) 11手

チャンプさん「結構難しいと思うので会話に気持ちだけヒントを入れておきました(笑)」

#### ■締め切り前ヒント (10月16日 DD++)

締め切り前ヒントです。

初級：▲54歩を△同歩とされないためには、後手側から歩をぶつけてやればよいのです。

中級：後手が最後に金を打てるように、先手は後手馬の利きにある駒をひたすらどけましょう。

上級：金銀歩のトドメは紐がつけられず、飛角香の離れた王手に合駒なしも短手数で強欲では困難。しかし「離れたところから合駒のできない王手をかけられる駒」が、ほら、8筋あたりにありませんか？

##### 60-1 初級 チャンプさん作 取る一手将棋!? (その1) 9手

豪「駒を取れる局面では必ず駒を取るというルールで将棋をしようよ」

翼「了解、君が先手だ、お願いします」

豪「それじゃあ最初は▲58飛」

翼「原始中飛車か、それなら僕は△32飛」

豪「おっ、2手目32飛戦法とは流行の最先端だね」

翼「ふふ、当然だよ」

豪「しかしこれでどう？」

翼「あっ、たった9手で詰まされちゃったな」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 9手で詰んだ
- ・ お互いに、駒が取れる局面では必ず駒を取った
- ・ 指し始めは▲58飛△32飛

### 60-2 中級 チャンプさん作 取る一手将棋!?(その2) 10手

豪「簡単に終わっちゃったね。もう一局同じルールでしょうよ」

翼「了解、また君が先手だ、お願いします」

豪「おっ、今度は急戦か」

翼「ふふ、当然だよ」

豪「あ、しまった」

翼「よし、10手で詰まして勝ったぞ」

豪「いや～6手目の△47角が好手だったね」

翼「不成の手があったのも見逃せないね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 10手で詰んだ
- ・ お互いに、駒が取れる局面では必ず駒を取った
- ・ 6手目は△47角
- ・ 不成の手があった

### 59-3 上級 チャンプさん作 取る一手将棋!?(その3) 11手

豪「これで1勝1敗か。最後にもう一局同じルールでしょうよ」

翼「了解、またまた君が先手だ、お願いします」

豪「最後ぐらいは基本に忠実に・・・おっ？君もかい？」

翼「ふふ、当然だよ」

豪「これでトドメだ」

翼「あー、今度は11手で詰まされちゃったな」

豪「最後に駒を取って詰みとはツイてたね」  
翼「駒を打ち合う乱戦だったけどやられたなー、今度は駒を成る手が無かったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 11手で詰んだ
- ・ お互いに、駒が取れる局面では必ず駒を取った
- ・ 最終手は駒取り
- ・ お互いに駒を打つ手があった
- ・ 成る手は無かった

#### ■練習問題解答

問題以下、△53金▲同歩不成△72金▲52金まで。

6手目以降でよく生じる手筋です。金や銀、あるいは大駒などを6手目に先手駒の利きへ移動、7手目に同と取り、8手目で形を整えたところへ9手目に打って詰み。9手以外でも最終4手でこのやりとりはかなりの頻度で発生します。

ちなみにこの手順も9手詰強欲手順の1つだったり。

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀		王		銀	桂	香	一
	飛	金		金			角		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
									五
									六
歩	歩	歩	歩		歩	歩	歩	歩	七
	角						飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 歩

# Fairy of the Forest #33出題

- 2012年08月20日：課題発表：(協力詰)
- 盤面駒に一色ふくむ
- 2012年10月15日：投稿締切
- 2012年10月20日：出題
- 2012年11月15日：解答締切
- 2012年11月20日：結果発表

## ■ 出題

今回の課題は使用駒に関する漠然としたものだったので、その条件下で如何に狙いをもった作に仕上げるかがポイントだったと思います。

そんな中、一色字郎氏から「盤面小駒4枚、持駒なし」のシリーズ物が届きました。敢えて手数順にしていますが、作者の意図を汲んだものをご理解ください。

残りの3作も楽しい物ばかり。1題でも解けた方は下記まで解答・感想をお寄せください。

(解答先)

→酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

## ■ 33-01 たくぼん 協力詰5手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									王	一
王										二
		王	歩					龍		三
										四
										五
										六
										七
										八
									王	九

持駒 角

## ■ 33-02 一色字郎 協力詰9手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									王	一
								香		二
								香		三
							香			四
							香			五
										六
										七
										八
										九

持駒 なし

## ■ 33-03 一色字郎 協力詰13手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										一
							科	科	科	二
									王	三
										四
										五
										六
							桂			七
										八
										九

持駒 なし

## ■ 33-04 一色字郎 協力詰11手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										一
										二
										三
										四
										五
							銀	銀	銀	六
										七
										八
									王	九

持駒 なし

■ 33-05 一色字郎 協力詰 13 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
						金	金	金	六
									七
									八
							王	王	九

持駒 なし

■ 33-06 神無七郎 協力詰 49 手  
(受方持駒なし)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
				皇			遊		五
				皇	角		歩		六
							入		七
				王	香		香	皇	八
						歩	王	入	九

持駒 飛銀歩4

■ 33-07 たくぼん 協力詰 55 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
					歩	銀	銀		三
				遊	歩	銀	銀		四
				飛	香	香	歩	香	五
			角			と			六
					桂	入	科	王	七
						入	桂		八
			香	王		手			九

持駒 歩10

# 第45回WFP作品展結果 担当:神無七郎

第45回WFP作品展は出題数5題、解答者は4名。解答成績は以下の通りです。

## 〔第45回WFP作品展解答成績〕(敬称略)

○:正解 - :無解

解答者名	1	2	3	4	5	計
たくぼん	○	○	○	○	○	5
中山省吾	○	○	○	-	○	4
soga	○	○	○	-	○	4
変寝夢	-	-	○	-	○	2

問題数こそ少ないものの、解答には結構骨が折れる今回の作品展。一時期は45-2と45-4は正解者ゼロとなるかもしれないと覚悟したのですが、45-2は作者(のうちの一人)を含め3名の解答者があり、45-4もたくぼんさんのおかげで何とか正解者ゼロを回避できました。

### ■ 45-1 神無太郎氏作 (正解3名)

安南協力詰 13手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
								王	八
									九

持駒 銀 歩2

#### 【ルール】

##### • 安南

味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる。

##### • 協力詰

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

#### 【解答】

29歩 27玉 28歩 26玉 27歩 25玉  
 34銀 24玉 33歩 14玉 24歩成 15玉  
 25銀 まで 13手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
							と		四
							銀	王	五
									六
							歩		七
									八
									九

持駒 なし

#### 【解説】

新しい裸玉が見つかりました。

今までに発見された協力詰系統の裸玉は以下のページにまとめられています。

#### ルール別・裸玉リスト

(<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/nude-kingall.html>)

これには個別に発見されたものも、系統的に調べられた成果も両方含まれています。今回の作品は「安南協力詰」分野で新発見の裸玉で、局所的な絨毯爆撃結果に若干の加工を施して得られたそうです。

では、手順を見ていきましょう。

本局、単純に歩で玉を1段目まで追い、銀を打って詰ますと15手詰。これでは作品になりませんね。実際、手数は13手ですから、どこか途中で詰ませるはず。また、歩の代わりに銀で追うこともできるので、どちらで追うかも迷います。

銀と歩2枚だけで空中捕捉はできないので、歩を「と金」にする必要がありますが、ここで安南の特質が発揮されます。歩を銀の性能にすれば、引く手で王手が掛けられるので、玉を3段目まで追う必要はなく、4段目で「と金作り」を行えるのです。これが15手から13手に手数を短縮できる最大の要因です。

詰上りを見てください。「24と」は銀の性能ですが、25銀が取られると金の性能に戻ります。このように現時点では利きがなくても、本来の利きで紐を付けるのは安南の高級手筋です。ただ、「と金」と「銀」の2枚組だけでは玉を完全に捉えられないので、サポートするため歩を27に据える必要があります。これにより玉を追う

駒を歩から銀に切り替えるバトンタッチのタイミングが限定されます。何もない裸玉からこんな気の利いた手順が出てくるのはフェアリーならではといったところでしょうか。

純協力詰では裸玉は掘りつくされていますが、安南や他の条件付きで持駒の多い裸玉は、まだまだ発掘の余地があります。理論上はそのような裸玉も機械的・系統的な調査が可能です。現実には「時間」が壁となるため、調べ尽くすのは困難です。そのような領域では、「全部」ではなく「ありそうな付近」だけに絞り込む技法が必要になり、作家の勘に頼る部分も多くなります。求む、多持駒裸玉！

【短評】

変寝夢さん（※無解）

何度34歩、13玉、23歩成、14玉、24とと持っていこうとしたことか。いつ玉を1筋によろけようかと頭を悩ませたことだろうか？

と、いくら言っても分からないことには変わらない。参りました。

たくぼんさん

通常の17歩25と34銀、15玉のような形を追ってばかりで、この詰上りをすっかり忘れてました。まさに安南らしい見事な裸玉です。

soqaさん

と金を作らなければならない+13手ということで、3段目まで追いかけて折り返して4段目で詰ます、と早合点してしまった。

☆お三方が言及されているのは1筋に歩を置く紛れ筋ですね。例えば…

47銀 27玉 36銀 16玉 17歩 15玉  
16歩 24玉 35銀 23玉 34歩 13玉  
23歩成 14玉 24と まで 15手

☆詰棋人は「金はトドメに」が身についているので、銀に変身させる本局のような詰上りは盲点になり易いと思います。

中山省吾さん

詰め上がりの形が面白い。

最後の4手は繰り返せそうですね。

☆なるほど、この手順を使って斜め下に追って

いくのですね。この手順そのままの趣向作はありませんが、銀+αで似て非なる手順を使った作品はいくつかあります。例えば神無太郎さんご自身の作品をご覧ください。

《参考図 1-1》

神無太郎作

(Online Fairy Mate 2001年6月5日)

安南ばか自殺詰 40手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
桂									二
									三
									四
									五
									六
						玉			七
									八
						銀	王		九

持駒 なし

48銀 46玉 57銀 55玉 66銀 64玉  
75銀 73玉 84銀 82玉 93銀生 71玉  
83桂生 72玉 84銀生 62玉 74桂生 63玉  
75銀 53玉 65桂 54玉 66銀 44玉  
56桂 45玉 57銀 35玉 47桂 36玉  
48銀 26玉 38桂 27玉 39銀 17玉  
29桂 16玉 28王 27玉 まで 40手

☆より複雑な例としては、第6回妖精賞中編部門を受賞した岩本修氏作（安南ばか自殺詰44手）もありますね。これはWFP15号でも紹介されているので、ぜひご覧ください。

〔補足〕最小持駒

普通詰将棋では「最小持駒」を求めることによる絞り込みが可能です。例えばある位置の裸玉が持駒「飛角角金」で詰んだとすると持駒「飛角角金歩」でも詰むのは当然なので、調査は省略できます。

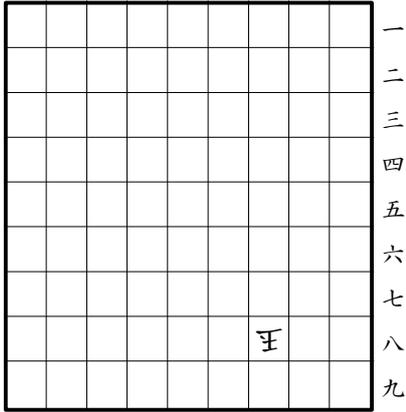
協力系の詰将棋でも「詰・不詰」に関しては上記と同様ですが、「最短手数のみが正解（長手数の余詰はいくらあっても良い）」というルール設定のため、「完全・不完全」については「最小持駒」による絞り込みはできません。これは単に理論上の話ではなく、実例が存在しています。同じ玉位置で、持駒「金歩歩」と持駒「金歩歩歩」の両方で完全という例をご覧ください。

《参考図 1-2》 たくぼん

(2005年9月11日たくぼんの解図日記)

協力詰7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 金歩3

39歩 27玉 28歩 18玉 19歩 17玉

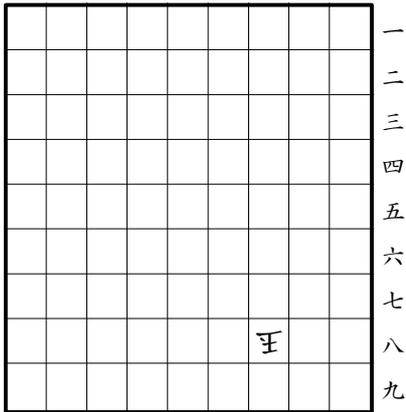
27金 まで7手

《参考図 1-3》 神無太郎

(2005年9月13日ばか詰裸玉絨毯爆撃作戦)

協力詰11手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 金歩2

48金 28玉 29歩 18玉 19歩 27玉

28歩 26玉 37金 17玉 27金 まで11手

このような例が現われるのは協力系のルールに限りません。対抗系のルールでも起こり得ます。普通詰将棋のように長手数でも余詰は不完全とするのではなく、「攻方最短・受方最長のみが正解」とすれば同様の現象が起こり得ます。もう一つ例を挙げると、最悪詰は「攻方最長・受方最短のみが正解」なので、同じ玉位置で、持駒に完全な包含関係があっても共に完全作になることがあります。

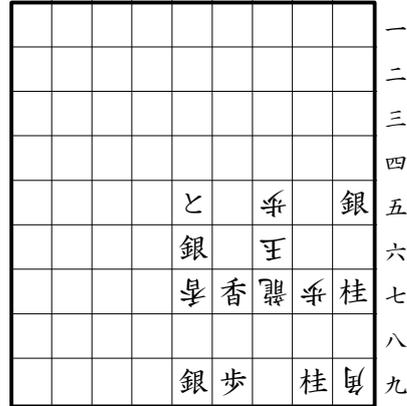
更に一般化すれば、これは裸玉に限りません。盤上の配置は完全に同じで、持駒に完全な包含関係のある2つの図が共に完全という作はあり

ます。読者の皆様もそのようなツインを探してみてください。

■ 45-2 洞江元太氏・志賀友哉氏作 (正解3名)

詰将棋 27手 ※還元型無駄合概念あり

9 8 7 6 5 4 3 2 1



攻方持駒飛

受方持駒香2

【ルール】

• 還元型無駄合 (原型復帰型無駄合)

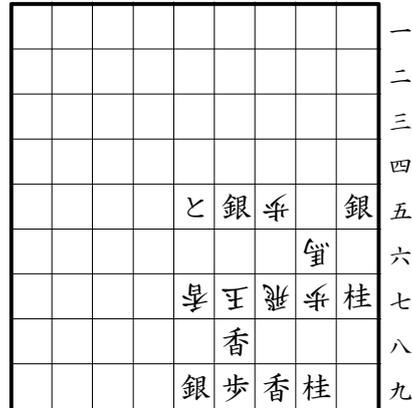
盤上の配置が同じで攻方の持駒だけが增える局面に至るような合駒はしない。

【解答】

16飛 26香 同飛 同龍 39香 37龍  
同香 (イ) 同角生 16飛 26香 同飛 同角生  
39香 38香 同香 37飛 同香 (ロ) 同角成  
16飛 26香 同飛 同馬 39香 37飛  
45銀 47玉 48香 まで27手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1



攻方持駒なし

受方持駒飛香

【作者のコメント】

主眼手はイの同角生です。ここを同角成にす

ると、口では 37 同馬となりイと口が攻方持駒に香が増えた以外は完全に同一局面となるため、せつかくの香中合が還元型の無駄合（いわゆる馬ノコの無駄合）と判定されてしまいます。そのため、38 香では 37 合とする必要があり以下 45 銀、46 玉、48 歩、45 玉、56 とまでの 19 手詰となります。

しかし、イで不成とすると、口の局面とは 37 の駒が角か馬かのわずかな違いですが、差が生まれるため、香が増えただけの同一局面とはみなせないわけです。したがって、38 香は有効合となり手数が増えるのです！（12 手目の生も同じ意味付けです）

収束では、48 歩、45 玉、56 とまでの余詰がありますが、最終手以下の余詰であるため、許容範囲内に収まります。つまり本作は無駄合を認めれば完全作となっているのです。

おそらく史上初の打歩に関わらない角不成ですが、いかがでしょうか。

### 【解説】

打歩詰に関係ない大駒の不成を実現してしまった作品。一般的なカテゴリーで言えば史上初ではない（後述）のですが、還元型無駄合からこの結果を生み出したのは、間違いなく史上初です。還元型無駄合は原形復帰型無駄合とも言われ（元の投稿に「還元型無駄合」と書かれていたのでここではその用語の方を使用します）、一般的には馬鋸における中合対策に使われます。一方、「打歩詰に無関係な大駒の不成」は通常は不可能に分類される着手です。「飛」「角」そして「歩」の 3 種の駒は、それぞれ成ると「龍」「馬」「と金」という、元の駒の利きを完全に包含する利きを持った駒に変化します。つまり、この 3 種の駒は成った方が必ず得をするのです。このため、普通詰将棋では打歩詰絡みでしか、そのような着手は登場しません。なお、「大駒の不成」と呼ぶと上記の 3 種のうち歩が漏れてしまうので、以下では飛角歩の不成を「不利不成」と呼ぶことにします。では、本局ではどのように打歩詰に関係ない不利不成を可能にしているのでしょうか？詳細は作者自身の解説に述べられていますが、ここでは敢えて知らないふりをして手順を進めてみましょう。

受方持駒が香 2 枚に制限されている（このこと自体は作品の本質に関係ありません）ので初手から 13 手目までは、ほぼ一直線に手を進めることができます。

16 飛 26 香 同飛 同龍 39 香 37 龍  
同香 同角成 16 飛 26 香 同飛 同馬  
39 香 …

ここで合駒読みです。単に 37 飛とすると 45 銀 47 玉 48 歩 46 玉 56 とまで早詰ですから、14 手目 38 香と中合をします。よくある連続合の形ですね。しかし、ちょっと待ってください。このまま手を進めると…

16 飛 26 香 同飛 同龍 39 香 37 龍  
同香 同角成 16 飛 26 香 同飛 同馬  
39 香 38 香 同香 37 飛 同香 同馬

18 手目の局面と 8 手目の局面を比べてみてください。盤上の配置は同じで攻方の香だけが増えていきますね。還元型無駄合の登場です。

さあ、そうするとこの間の合駒のどれか（どれが無駄合か無条件に確定できないことに注意）を省略しなければいけないのですが、どんなに粘っても 19 手にしかなりません。やっぱり、38 香の中合をしない手順に戻らねばならないのでしょうか？

16 飛 26 香 同飛 同龍 39 香 37 龍  
同香 同角成 16 飛 26 香 同飛 同馬  
39 香 37 飛 45 銀 47 玉 48 歩 46 玉  
56 とまで 19 手詰??

作意は 27 手ですから、何か変化を見落としたりはしてませんが、さてどこでしょう？どの変化も短手数で詰みそうですが、たった一つだけ長生きできる変化があります。それは 8 手目の「成」を「不成」にする変化です。一見何の意味もないように思えますが、これが作者の最大の狙い。8 手目を「不成」にしたことにより、先述の手順が還元型無駄合でなくなるのです！

16 飛 26 香 同飛 同龍 39 香 37 龍  
同香 同角生 16 飛 26 香 同飛 同角成  
39 香 38 香 同香 37 飛 同香 同馬

成駒か生駒かは僅かな違いですが、違いは違いです。これで 38 香の中合も有効合に戻りました。ただ、この解にはまだ問題があります。このまま先を進めると…

16 飛 26 香 同飛 同龍 39 香 37 龍

同香 同角生 16 飛 26 香 同飛 同角成  
39 香 38 香 同香 37 飛 同香 同馬  
16 飛 26 香 同飛 同馬

今度は 12 手目から 22 手目で「盤上の配置は同じで攻方の持駒が増えた状態」になってしまいました。この回避の仕方はもう分かりますね。

16 飛 26 香 同飛 同龍 39 香 37 龍  
同香 同角生 16 飛 26 香 同飛 同角生  
39 香 38 香 同香 37 飛 同香 同角成  
16 飛 26 香 同飛 同馬

これで無駄合が無駄合でなくなり、無事延命完了……のはずですが、何か話が旨過ぎますね。形式的には同一局面を回避できたものの、実質的には持駒の香が増えました。香がなくても詰む詰将棋は、香が余分にあれば手余りか余詰のどちらかになるはずです。

ここで出題時に「収束余詰を許容する」と明示していたことを思い出してください。香がなくても詰む手順を、香が余分にある手順の収束余詰にしてしまえば、不完全作扱いを回避できるのです！

16 飛 26 香 同飛 同龍 39 香 37 龍  
同香 同角生 16 飛 26 香 同飛 同角生  
39 香 38 香 同香 37 飛 同香 同角成  
16 飛 26 香 同飛 同馬 39 香 37 飛  
45 銀 47 玉 48 香 まで 27 手

(最終手から「48 歩 46 玉 56 と」とする手順は収束余詰として無視される)

さて、「打歩詰に無関係な不利不成」という不可能が可能になるカラクリをもう一度おさらいしておきましょう。

1. 成・不成の差異で還元型無駄合を回避する
2. 実質的に増加した持駒は収束余詰を利用して消化する

ちょっと考えただけでは「還元型無駄合」と「打歩詰に無関係な不利不成」は結びつきそうにありませんが、本局では還元型無駄合の回避を不成の意味付けに使うことで、パラドックスを現実のものとして成り立たせています。

念のために付け加えておくと、本局で収束余詰を利用していることは、本質的ではありません。

ん。攻方最短則が厳密に適用される（長手数之余詰を無視する）ことが本質です。収束余詰に特段の制約事項がない現状のルールでは、もっと恣意的な方法で不利不成を主張することができる（極端な話、「不成」が作意で「成」が余詰と言えば良い）のですが、本局ではそういったインチキは使わず、攻方最短の手順を辿っていけば、必然的に構想が成立するように出来ています。

実は出題の段階で「収束余詰を利用する」とするのではなく、「攻方最短・受方最長」というルール（普通詰将棋は「攻方任意・受方最長」）で発表することも考えたのですが、そうするとこの作品が単なるフェアリー作品と扱われ、普通詰将棋の枠内でも成立しうる作品であることが認識されない可能性があります。ですから、鍵となるルール（還元型無駄合と収束余詰）を強調する以外は、通常詰将棋として出題することとしたのです。

余談ですが、筆者は今「バナッハ・タルスキの逆説」という本を読んでいます。集合論の「選択公理」が生み出した、直感に反する—しかし「選択公理」を前提とすれば正しい—不思議な定理に関する話です。

本局では「還元型無駄合」と攻方最短則の厳密な適用で、打歩詰に無関係な不利不成という不思議な現象が成り立つことが示されています。これは「洞江・志賀のパラドックス」と呼ばれるようになるのでしょうか？ この作品が普通詰将棋の世界でどう扱われるのか、今後の動向を注視していきたいと思います。

#### 【短評】

#### 変寝夢さん（※無解）

こういう論理物は苦手です。ごめんなさい。

#### たくぼんさん

盤面同一になると 38 香が還元型無駄合となるので、盤面同一にならぬよう角と馬の差異をつけるということですね。なるほどこれは今までなかった構想ですね。

☆この作品には締切間近になっても正答が寄せられなかったもので、たくぼんさんには少々無理を言って解いて貰いました。結果的にはそのままでも中山さんからの解答が届いて「作者以外の解答者ゼロ」という事態は避けられたのですが、正答者が多いに越したことはありません。



なる。(今回の出題作では攻方王は王のまま、受方玉がQの性能になっている。)

• **Q (クイーン)**

チェスのクイーン (Q)。飛車と角を合わせた性能を持つ。



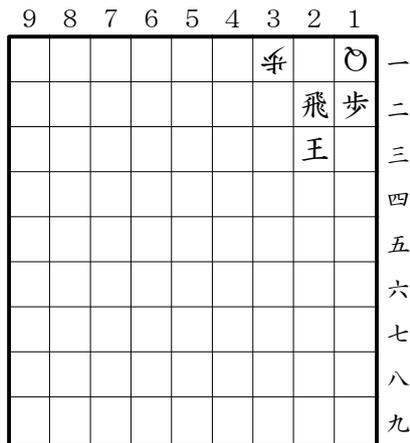
• **打歩**

打歩詰以外の詰手を禁手とする。

【解答】

11 飛 21 歩 同飛生 31 歩 52 歩 同Q  
 22 飛生 42 歩 同飛生 54Q 52 飛生 21Q  
 22 飛生 11Q 12 歩 まで 15 手

(詰上り)



攻方持駒なし  
 受方持駒なし

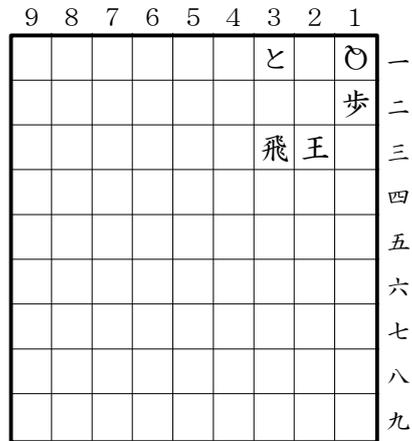
【解説】

ここからは神無三郎氏によるQを打歩で詰めるシリーズ物です。Qは動きが大きく、詰ましにくい駒ですが、逆にそれを利用して詰上りを想定することもできます。今回のシリーズは、Qと玉・大駒1枚・歩2枚の4枚だけで作られたミニチュア図式ですが、なかなか手応えのある作品が並んでいます。

この条件は使える駒を考えれば隅の詰上りしかないこと、「打歩」条件がついているため、攻方王の参加しない詰上りは不可能であることが分かります。

更に詰上りを具体的に絞り込みましょう。隅

のQは3方向の利き筋を持ちますが、上の利きは歩で止めることで確定。後は横と斜めをどうするかです。横の利きは一段目の歩(と金)ですから、それに紐を付けられるように飛を配置すると自然に以下の詰上りが想定できます。



攻方持駒なし  
 受方持駒なし

しかし、この詰上りだけを想定したのでは、いくら頑張っても正解には辿りつけません。33 飛を龍に置きかえてもだめです。

先の説明では、あたかも攻方の駒だけでQの利きを止めるように書きましたが、実はこれが間違いの元。Qの横利きは味方の歩で止めるのです。え、21 歩なんて発生させるのは無理? いいえ。発生させるのは 21 歩ではなく、31 歩。33 飛の代わりに 22 飛型にすれば、21 の空間と斜めの利きを同時に止めることができるのです。

この詰上りさえ気づけば初手 11 飛から歩の連続合はすぐに思い浮かぶでしょう。更に 31 歩発生により、42 歩が限定合になり、詰上りが 22 飛型であることから、途中の飛もすべて不成で動くこととなります。何と虫の良い手順なのでしょう!

31 歩型の詰上りを目標に据えた時点で、作者の望む思い通りの手順がすべて実現した——本局はそんな作品だと思います。

【短評】

変寝夢さん

こういう手(8手目)入るとラッキーですね。主題の所ってどんなにすごくても、元々入るように作っているから(成立してなかったときの落ち込みはひどいものですが)。

たくぼんさん

これは簡単に解けました。詰上りを想定すれば問題ない。

**中山省吾**さん

この詰め上がりは見えていたので、手なりで解けました。

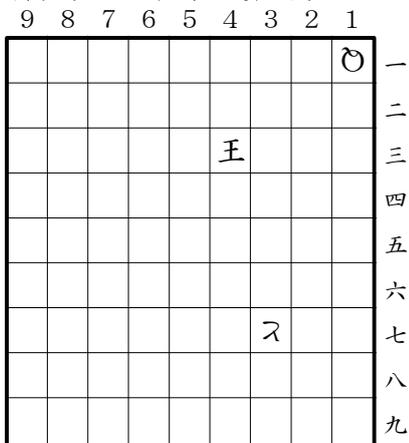
**soqa**さん

はじめに見つけた詰み形から、この手数ではこれしかないと断定して逆算しました。合駒位置が綺麗に限定されるのが不思議な感覚です。

☆ 短評を見る限り 33 飛・31 と型の詰上りを想定した人はあまりいなかったみたいですね。手順については、やはり 8 手目の歩合の位置限定が大きく解答者にアピールしたようです。

■ 45-4 小林看空氏作 (正解 1 名！)

打歩異王 (王/Q) 協力詰 15 手



攻方持駒 飛 歩  
受方持駒 なし

【解答】

13 飛 41Q 42 歩 51Q 41 歩成 73Q  
32 王 78Q 18 飛生 28 と 同飛 12Q  
22 飛生 11Q 12 歩 まで 15 手

(詰上り)



攻方持駒 なし  
受方持駒 なし

【解説】

意味ありげな「37 と」が重大な意味を持っている作品。

まずは 43 王の処置について考えましょう。こんなところに王がいても役に立たないので、どこかに動かさねばなりません。移動の手段は開き王手を使います。詰上りを先に考えると、43 王の周辺 8 カ所のうち、役に立つのは 32 しがありません。もし「37 と」が受方の持駒なら、41 飛 31 歩 … 以下 33 王と開き王手し、前局と同様の詰上りを目指す手順も成立しますが、「37 と」の配置のせいで合駒はないのです。

何とも厄介な「37 と」ですが、これを積極的に取りに行く手順を考えると泥沼にはまりません。考えてみてください。なぜ「37 歩」ではなく「37 と」になっているのでしょうか？

ここで「37 と」は「取られる」のではなく、「捨てる」ことに気付かねばなりません。「取られる」だけなら「歩」で充分。「と金」になっているということは、これが動くということです。詰上りで飛は 2 筋にいます。「捨てる」ことを前提に考えれば、3 筋や 4 筋より 2 筋で捨てた方が効率的です。10 手目「28 と」は、正に本局最大の難手であり、手数短縮の鍵なのです。

また、詰上りを考えると王の開き王手だけでなく「41 と」を作る必要があるので、「13 飛 41 Q 42 歩 51Q 41 歩成 73Q 32 王 …」という導入になるのですが、この導入の手順と収束に向かう手順も、「28 と」と捨てることを前提とすれば自然に繋がります。

改めて手順を見てください。Q が 11→41→51→73→78→12→11 という大きな軌道を描いて戻ってきましたね。こんな大周遊をたった 1 枚の配置で成立させたのは実に見事です。

形だけを見た人は本局が双裸玉でないことを残念に思うかもしれませんが、この 1 枚にはそれだけの価値があると思います。

【短評】

**変寝夢**さん (※無解)

2 手目 7 7 玉は飛の打ち場所非限定が絡むのでないでしょう。  
4 筋に飛車を持ってきて 4 1 玉とさせ、3 3 玉の開き王手を考えたんですが、玉が 4 筋で詰んだらビックリです。

**たくぼん**さん

37 とに目がくらんだ手順を考えていましたが、やっと 13 飛に気づきました。

28 とが難手。Q の軌跡が無駄なく実に美しい。

中山省吾さん (※無解)

初手から追っても、逆算しても、繋がらず。ギブアップです。無念。

sogaさん (※無解)

王移動だと思うのだが、手が足りない……

☆ 解答陣全滅の危機を救ったのは、たくぼんさん。お祭りのおかげで時間が取れたとか。時間に余裕のある日本のお祭りに感謝！

■ 45-5 小林看空氏作 (正解 4 名)

打歩異王 (王/Q) 協力詰 19 手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

							王		一
									二
									三
									四
							Q		五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒角  
受方持駒歩2

【解答】

61 角 52 歩 同角生 23Q 41 角生 32 歩  
24 歩 33Q 23 歩成 34Q 33 と 同歩  
52 角生 43 歩 同角生 12Q 21 角生 11Q  
12 歩 まで 19 手

(詰上り)

							王	角	Q	一
									歩	二
							歩			三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

攻方持駒なし  
受方持駒なし

【解説】

本局も 45-3 と同様、受方の駒でQの利きを遮るのが狙い。しかし、内容は一步踏み込んで、ただ合駒を発生させるのではなく、合駒を動かすことでようやく目的を達成することができるようになっています。

ここでちょっと変わった解法を紹介しましょう。駒の性能を落として考える方法です。数学でベクトルを各成分に分けて分析するのと同様に、Qを馬と龍の合成とみなし、斜め成分と縦横成分に分けて手掛かりを探るわけです。

例えば本局の「Q」を「龍」に置きかえると次のような手順で詰むことが分かります。

52 角 14 龍 41 角生 32 歩 同角生 12 龍  
21 角生 11 龍 12 歩 まで 9 手

実際は「龍」でなく「Q」なので、斜めの利きを止める駒が必要になります。可能なのは、22 歩か 33 歩ですが、22 歩の発生は難しいので、33 歩を発生させます。

そして本局の前半 10 手は、正にその 33 歩発生に割り当てられています。つまり本局は、「斜めの利きを止める (33 歩を発生させる)」序の 10 手と、「縦横の利きを止める」9 手の 2 部構成の作品なのです。最後まで不成で動く角の動きは 45-3 と呼応しており、明確な狙いを持った手順を、明快な構造で成立させた作品と言えるでしょう。

今回紹介した「駒の性能を落として考える」という手法はいつでも有効なわけではありませんが、時には重要なヒントをもたらしてくれることもあります。解図に行き詰ったらダメ元で試す価値はあると思います。

【短評】

変寝夢さん

初手からの連続合の紛れに少し嵌まりました。合駒の筋と角の筋が違うので、歩を発生させてから 1 回動かすことは分かっていたのですが……。

5 2 角生以下の手順は心地いいです。

たくぼんさん

33 歩発生という手があったんですね。

それに気づいてすぐ解けました。

33 歩発生で 43 歩が限定になるのもうまいと思いました。

## 中山省吾さん

この詰め上がりしかない。

駒の洗練された動きに惚れ惚れ。

## soqaさん

角のライン外になんとかして歩を置かなければならぬ→と金で合駒を動かす必要があるということに気付いてどうにか解けました。

☆最後の問題はちょっと難しいかと思ったのですが、全員正解でした。皆さんお強い。

### 【総評】

## 変寝夢さん

クイーンは強力なので、協力以外のルール設定が有効ですかね。

いやー、読みの力が要りそうなオーダーでした（イコール解けないって事です）。

☆最近フェアリー駒に凝っておられる変寝夢さん。多種のフェアリー駒を同時に扱える検討プログラムの作成もされているそうです。完成が楽しみです。

## たくぼんさん

残り2題何とか解けました。

お祭りで時間が取れたのがラッキーでした。

☆お忙しいところ、時間を割いていただき、ありがとうございます。今回も作品がテコ盛り。時間の捻出が大変かもしれませんが、よろしくお祈いします。

## 中山省吾さん

出題もしてみたいんですが、しばらく様子を見ます。

☆しばらくは解答専門ということですね。作図は解図よりも波がありますから、自分のペースで進めるのが一番です。いつでも良いので、投稿をお待ちしています。

## soqaさん

帰省やレポートのメ切りなどが重なり解図が進んだので、解答します。

☆用事があって解図が進むというのも変ですが、忙しいときに限って詰将棋を作りたくなることは意外とありますね。詰棋人の体質？

## 【余詰報告】

第44回WFP作品展の第2番(変寝夢氏作 二玉詰 31手)に余詰がありました。指摘者は一乗谷酔象氏。内容は以下の通りです。

解説では

『問題はここから。普通に「22金打」などとするのは「43玉」から左辺に脱出されます。31香の守りも良く効いていて、左に玉を逃がすと詰めるのは絶望的です。』とありますが、普通に22金と打てば、左にどんどん逃げてでも早詰め、香で金を取ると、更に早詰めになるのではないのでしょうか。

ご確認ください。

1) 6手目 44玉左～普通に逃げ続けると、  
▲21金 △33玉左 ▲22金打△43玉上  
▲32金打△44玉左 ▲33金打△54玉上  
▲34金打△55玉左 ▲44金打△65玉上  
▲45金打△66玉左 ▲55金打△76玉上  
▲56金打△77玉左 ▲76金打△87玉上  
▲67金打△88玉左 ▲77金打△98玉上  
▲78金打△99玉左 ▲88金打まで27手  
シチョウ攻めで、金14枚使用して詰みます。

2) 6手目 24玉と反対方向に逃げると、  
▲21金 △33玉左 ▲22金打△43玉上  
▲32金打△24玉 ▲34金 △同玉上  
▲23金打△35玉左 ▲24金打△45玉上  
▲25金打△46玉左 ▲35金打△56玉上  
▲36金打△57玉左 ▲46金打△67玉上  
▲47金打△68玉左 ▲57金打△78玉上  
▲58金打△79玉左 ▲68金打△89玉上  
▲78金打まで29手

これも、34金打からシチョウ攻め。  
金15枚使用して詰みます。

3) 6手目同香と取る

▲21金 △33玉左 ▲22金打△43玉上  
▲32金打△同香 ▲同金 △同玉左  
▲22金打△42玉寄 ▲32金打△53玉上  
▲59香 △54合 ▲33金打以下

香は強力な攻め駒で、玉が横並びの状態、香打の王手すると早い

ということで、解説者の読みが非常に甘かったことが明らかになりました。この件を作者の

変寝夢氏に連絡し、以下のお返事と修正図をいただきました。

読みは絶対打ち切ったところからが危ないんですよねえ。香を置いたことで大丈夫とたかをくくったのがいけませんでした。申し訳ありませんでした。

一乗谷酔象様のご指摘、大変感謝です。

：

(略)

：

修正図考えましたが、シチョウ追いの筋が相当厳しく(どの段からでも腹金から開始できる)1枚補充では(たとえば41、51香)しんどそうな気がします。

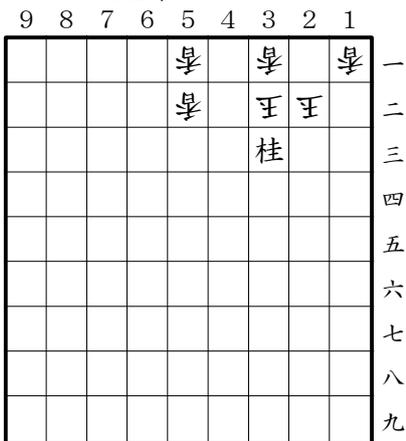
ということで一応51、52に香追加でいかがでしょうか？

シチョウ追いで玉方の香があるときに尻金に同香、同金の時に再度同香と取れるように(要は玉が下がらなければいいはずなんです)ということです。

以下にこの修正図を示します。原図の曲詰っぽさが損なわれたのが残念ですが、致し方ないでしょう。作者も「一応」と付けているので、より洗練された修正図の登場にも期待したいと思います。もし、この図でも余詰があるようでしたら担当者までお知らせください。

■ 44-2 変寝夢氏作 (修正図・作意不変)

二玉詰 31手



持駒 金16

以上

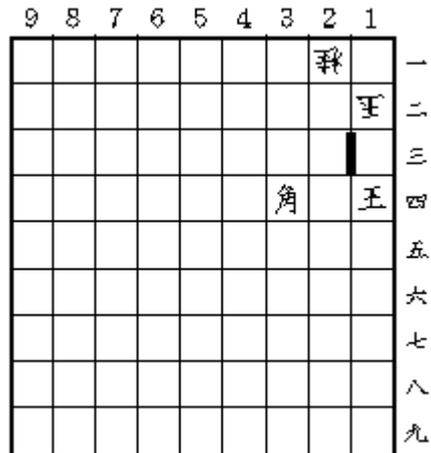
おばかなフェアリー詰将棋募集中!

現在おばかなフェアリー詰将棋募集中です。

10/20 現在までの投稿は DD++さん 1 作、神無太郎さん 8 作、たくぼん 1 作の計 10 作となっております。奇想天外な内容のものもあり皆さんの反応が楽しみです。募集締切までまだ1ヶ月ありますのでどしどし投稿お願いします。

先月号で紹介した名作の解答を書いておきます。

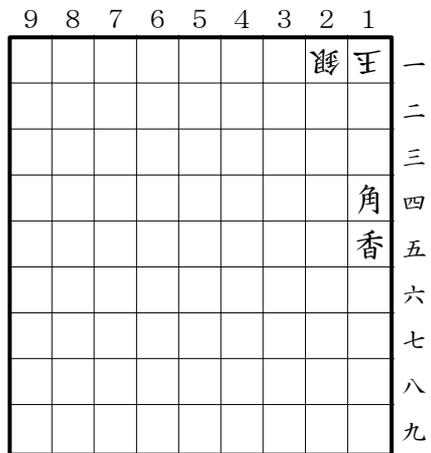
1988/5 カピタン 39号 小林看空作  
1/2 手詰



持駒 なし

正解：23の先手飛が13に成ろうとしていて駒を裏返す途中。駒が縦になっている状態。

1989/7 カピタン 40号 山本昭一作  
1 手詰



持駒 なし

正解：2.5 二・五角成

\*升目にこだわらないという凄いい発想!

# 推理将棋第59回出題解答 担当：DD++

出題： 平成 24 年 9 月 4 日  
 解答締切： 平成 24 年 9 月 20 日  
 推理将棋第 59 回解説 担当 DD++

今回は 94 問題特集なので必然 9 手、さぞかし解答者が増えるかと思いきや案外そうでもなくてちょっと残念。

## 59-1 初級 DD++作 大返し 9手

- (条件)
- ・ 9 手で詰んだ
  - ・ 2 手目は玉
  - ・ 3 手目は不成
  - ・ 5 手目は歩
  - ・ 9 手目は 95

出題のことば (担当 DD++)  
 後手玉がどこへ行けばいいのかを考えましょう。  
 追加ヒント：  
 84 玉に馬でトドメを刺しましょう。

推理将棋 59-1 解答  
 ▲ 7 六歩 ▽ 6 二玉 ▲ 3 三角不成 ▽ 7 四歩  
 ▲ 9 六歩 ▽ 7 三玉 ▲ 7 七角成 ▽ 8 四玉  
 ▲ 9 五馬 まで 9 手。  
 詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	駒	玉		玉	駒	科	皇	
二		飛						馬		
三	歩	歩		歩	歩	歩		歩	歩	
四		王	歩							
五	馬									
六	歩		歩							
七		歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 歩

まずは肩慣らし。94 形式は穴埋め式に解いていくと楽なことが多いです。条件は以下の通り。

● ??、? 玉、?? 不成、??、? 歩、??、??、??、95? まで

さて、よく見るとさっそく 3 手目が大ヒントですね。3 手目に指せる不成は 22 角不成か 33 角不成。2 手目が玉の手であるこの問題では 33 角不成しかありません。当然初手は角道を開ける 76 歩ですね。

● 76 歩、? 玉、33 角不成、??、? 歩、??、??、??、95? まで

さて他にヒントになりそうな情報は、と考えると最終手が 95 というのはかなりの大ヒントではないでしょうか。最終手は当然王手のはずです。つまり特殊な形でもない限りこの隣接 5 マスのどこかに後手玉がいる必要があるわけです。上級などだとその特殊な形を優先して疑うところですが、ここは初級なので素直に考えましょう。後手の手は 74 歩を突く手と玉を 84 まで移動する 3 手。つまりこういうことです。

● 76 歩、62 玉、33 角不成、74 歩、? 歩、73 玉、??、84 玉、95? まで

だんだん全容が見えてきました。あとは 7 手目までに 95 に 2 枚の駒を利かせ、片方を動かして詰めればよいようです。まず 5 手目の歩は当然 96 歩でしょう。これで 1 枚確保。歩の後ろから香も利いていますが、95 歩では王手がかからないので香は意味を成しませんね。

● 76 歩、62 玉、33 角不成、74 歩、96 歩、73 玉、??、84 玉、95? まで

あと 1 枚、2 手で 95 に移動できる駒が必要。盤面の左側を探してもそれが可能な駒は見当たりませんが、広く見渡すと…… 1 枚だけいました。最初に 33 へ攻め込んだ角。これを 77 へ成で帰還させて 95 へ移動すれば、ちょうど 73 への逃げ道も封鎖できて詰みにできます。

なおタイトルの元ネタですが、時は戦国時代、中国地方攻めを行っていた羽柴秀吉（後の豊臣秀吉）が、本能寺の変の知らせを受けて急ぎ

京へと引き返し、すぐさま山崎の地へ向かい明智光秀を討った一連の行動を大返しと言うところからいただきました。こちらは隅の老人Bさんただお一人の正解。

それではみなさんの短評をどうぞ。

NAO「ヒントのような条件に導かれるままに解けました。イメージ通りのぴったり手順。」

■2手目を歩でなく玉、9手目を9筋でなく95まで明かすなど、なるべく解きやすい方向に条件をつけましたので。

渡辺「知っている人はとどめが95で詰上図が見えます。」

■96は少なくとも2系統ありますが、95はこれしかないでしょうからね。

諏訪冬葉「最終手が▲95なら玉は△84玉しかないと考えたらできました。」

■想定通りの解答ありがとうございます。

斧間徳子「『9手目は95』なら第1にこの手順が浮かびますね。」

■そして第2や第3はたぶん存在しないはず…。

はらたっと「最終手95でかなり絞れ、あとの条件は手順前後と成生指定ですね。」

■その通り。一番簡単な94形式問題作成方法です。

星の平原「論理的に手なりで。軽いウォーミングアップ。」

■初級は常にそうありたいもの。

やまかん「これはほぼ第1感の手が正解ですぐ解けた。易しいのは2手目玉と最後の95が詰上がりを自然に想定できるからだと思います。」

■初解答者向けの客寄せを果たせたようで一安心。

占魚亭「ひと目でした。タイトルが大ヒントですね。」

■由来もわかっていれば帰る先が自陣ということまでわかる大ヒントです。

宮谷保可楽「最終手が95なのだから、84玉・95馬の形だろうな。…やっぱりなあ。」

■ここで「あれ、違った」になるようなら初級には置けません（笑）

隅の老人B「大返し、ネットで検索。秀吉さんも馬で駆けたのかな。」

■あ、しまった、3手目に成っておくんだった。

平井康雄「題名が大ヒント。」

■タイトルなくても33角は一旦引くしか使い道なさそうですけどね。

たくぼん「9手目9筋でも成立しそうですね。」

■ですね。紛れ筋がいくつかできるのでちょっと難しくなりますが。

変寝夢「これだけ条件があっても、締め切り前ヒントまでわからなかった。盲点にはまるとこんなにも見えないものか」

■な、なんですと？

柘彰介「不成と95の条件から、角が不成で引き成って95馬までの詰め上がりが最初に見えたので易しかったです。」

■初級の面目躍如。

はなさかしろう「94問題らしく条件がきびきびと小気味良いです。9手目95まではこの形しかなさそう。気持ちの良い大返しですね。」

■元ネタの方の大返しはさぞ気分がよくない大返しだったんでしょうけどね。

鈴木康夫「知っている詰上がりなので秒殺でし

たが、自力では難しかったかも。」

■ いやいや、鈴木さんなら間違い無くこの 95 馬にはたどり着いていたでしょう。

S.Kimura 「解けてから、題名が大きなヒントだったことに気付きました。」

■ 題名なぞ見ていなくても簡単な問題だったはずです、きっと。

チャンプ 「9 手で 95 までだと馬までの詰み形しかないの、これは初級に相応しいですね。」

■ こういう問題の投稿が増えてほしいところ。

正解：20名

S.Kimura さん 斧間徳子さん 鈴木康夫さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん たくぼんさん 橘圭伍さん チャンプさん テイエムガンバさん NAOさん はなさかしろうさん はらたつとさん 平井康雄さん 変寝夢さん 星の平原さん 柁彰介さん 宮谷保可楽さん やまかんさん 渡辺さん

5 9 - 2 中級 渡辺秀行さん作

手目+筋=8

9 手

(条件)

- ・ 9 手で詰んだ
- ・ 4 手目は 4 筋に金
- ・ 5 手目は 3 筋に成
- ・ 6 手目は 2 筋
- ・ 7 手目は 1 筋

出題のことば (担当 DD++)

6 手目や 7 手目にどのような意味を持たせましょうか。

追加ヒント：

1 筋に角を打って、最後は馬の移動で詰み。

推理将棋 5 9 - 2 解答 担当 DD++

▲ 7 六歩 ▽ 3 四歩 ▲ 2 二角不成 ▽ 4 二金  
▲ 3 三角成 ▽ 2 二銀 ▲ 1 五角 ▽ 6 二銀  
▲ 4 二馬 まで 9 手。

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科		帝	王			科	皇	一
	飛		銀		馬		銀		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
						歩			四
								角	五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 金

この問題の条件はこうですね。

● ??、??、??、4X 金、3X? 成、2X?、1X?、??、?? まで

さてこれでヒントになりそうなところは、と考えるとやはり 5 手目でしょう。5 手目の 3 筋駒成。どう考えても 31 角成か 33 角成以外にはありません。そうなることはこの馬と連携する駒の入手が問題となるのです。7 手目に 1 筋で駒を取るの絶望的。ならば取れる駒は 3 手目に 22 の角を取るか 5 手目に 31 の銀を取るくらいしかありません。

どちらを取るにしろ、2 手目には歩を突いてもらわないとどうしようもありません。するとこれで 4 手目は 42 金しかありえなくなり、97 角 31 銀成ルートが消えるので 2 手目が 34 歩、3 手目が 22 角不成に決定されますね。

● 76 歩、34 歩、22 角不成、42 金、31 角成 or 33 角成、2X?、1X?、??、?? まで

ここから銀打ちまであるいは角打ちまでというのは困難です。普通に 9 手でも角打ちや 53 以外への銀打ちでトドメを指すのは難しいのに、42 金が居座る上に 7 手目を無駄に消費するのはとても間に合いません。そう考えると 7 手

目 14 角から 41 角成もしくは 15 角から 42 馬(角成)、という 2 つの筋が見えてきます。いずれにせよ 8 手目に 62 を塞ぐ必要がありそうですね。

まず 14 角から 41 角成の場合。

●76 歩、34 歩、22 角不成、42 金、31 角成、24 歩、14 角、62 銀 or 62 飛、41 角成 まで？

42 金がいるので明らかにダメですね。ということはどうやら正解は 15 角から 42 馬(角成)の方。

●76 歩、34 歩、22 角不成、42 金、31 角成 or 33 角成、2X?、15 角、62 銀、42 馬 or 42 角成 まで

この手順は 31 角成で銀を処理してしまえば 6 手目が手パスでも詰みます。しかしここで渡辺さんのトラップ発動。その場合指せる 6 手目は 24 歩しかなく、15 角の利きを遮ってしまうのです。なんと、と驚いたところで冷静に他の 2 筋の手を探してみましよう。そう、銀をわざと残しておいて 22 銀で乗り切ってもらう手がありますね。必然的に 5 手目は 33 角成、9 手目は 42 馬に決定しておしまいです。

それではみなさんの短評をどうぞ。

NAO 「42 金をどう処理しようかと悩みます。15 角～42 馬の詰形は平凡な手順なのに意外と見えにくい。『X 手目』と『Y 筋』の『X+Y=8』足し算に統一されたのは素晴らしく、特に 6 手目 2 筋が巧い条件付けでした。」

■よく趣向条件の中にこの手を盛り込めたものだと感心します。

渡辺 「詰将棋では有り得ない詰め方と 22 銀が気に入っています。」

■この 22 銀はすばらしい手ですね。

諏訪冬葉 「5 手目だと ▲31 角成もできるから 6 手目は △24 歩で・・・と考えたら完全に ▲15 角が死角になりました。」

■見事に畏にずっぱり。

斧間徳子 「33 角成が 3 手目ではなく 5 手目に限定される順となると、3 手目は 22 角生だと察しがつき、さらば 15 角打だなということで解けました。4、5、6、7 手目が 4→3→2→1 筋とずらした条件がきれい。」

■今回の趣向条件担当を 1 作で担っていただきました。

はらたつと 「24 歩 14 角が詰まなかったのが 22 銀を限定させる本手順かな・と考えたら当たってました。」

■正解、お見事！

星の平原 「3一の銀は毒饅頭でした。」

■私は見事にパクッといきました。

やまかん 「これは普通に考えると 6 手目は 24 歩以外しかなさそうでそれで駄目なので他の手段を考えてたら 22 銀が閃いて解けました。」

■無駄手で条件に合わせようとするのが邪魔になる、というのは 9 手では珍しいですね。

占魚亭 「これもひと目でした。後手の銀 2 枚がナイスアシスト。」

■ほう、これで 31 銀を取らず 33 に引けますか。

宮谷保可楽 「5 手目に 3 筋に成れるのは角だけのはずだ…あたりから考えていると、あれよあれよという間に…」

■素晴らしい着眼点。

隅の老人 B 「なんとなく解けちゃった。表題もヒントになりましたよ。」

■条件がイメージしやすい、というのはあるでしょうね。

平井康雄 「問題としてはそんなに意外性なかったが、題名に感銘。」

■こういう趣向条件作は 94 形式ならでは。

たくぼん 「4、5、6、7手目に4、3、2、1筋と数字が並んできれいです。」

■今年は趣向作はこの1つだけでした。

変寝夢「ヒントを頼りに暗算で解いてたら脳内盤から3一銀が行方不明になり悩んでしまいました。いつもは左半分が消えるのに。」

■わかります、その現象。自信満々で解答したら1枚消えてた駒のせいで実は詰んでなかったりとか。

枡彰介「手が限定されているので難しくはないが、条件のつけかたが面白かった。」

■普通の形式でこういうのは作りづらいんですよ。

はなさかしろう「銀を取らずに33に引く手がポイントですね。15への角打ちは本線で14角からの紛れに気付く前に解けてしまい、もったいないことをしました。とすると、『5手目は3筋に不成』ならば『4手目は4筋』だけで成立するでしょうか？」

■あれ、意外と成立してるかも？ ちゃんとした検討はしていませんが……。

鈴木康夫「6手目24歩7手目14角かと思いました。素直に角を重ねれば良かったんですね。」

■2筋がミスディレクションめいていますよね。

S.Kimura「5手目の31角成を防ぐための6手目は格好がいいですね。」

■この手を趣向条件作に織り込んでくるのが渡辺さんの恐ろしいところ。

チャンプ「欲張らずに銀を生かしておくのが好手ですね(笑)」

■こういう手が意外と見えないんです。

正解：20名

S.Kimura さん 斧間徳子さん 鈴木康夫さん  
隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん  
たくぼんさん 橘圭伍さん チャンプさん  
ティエムガンバさん NAOさん はなさかし  
ろうさん はらたっとさん 平井康雄さん  
変寝夢さん 星の平原さん 枡彰介さん 宮谷  
保可楽さん やまかんさん 渡辺さん

59-3 上級 NAOさん作  
2筋の決め手 9手

(条件)

- ・9手で詰んだ
- ・2手目は金
- ・5手目は2筋に不成
- ・7手目は歩
- ・9手目は2筋

出題のことば (担当 DD++)

最終形が見えないとかなり手ごわい問題。  
追加ヒント：

トドメは角打ちですが、その角は5手目に急いで取らず7手目取るのです。

推理将棋 59-3 解答 担当 DD++

▲7六歩 ▼6二金 ▲3三角不成 ▼5二玉  
▲2四角不成 ▼6六角 ▲同歩 ▼4四歩  
▲2五角 まで9手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀			金	銀	桂	香	
二		飛		金	王					
三	歩	歩	歩	歩	歩			歩	歩	
四						歩		角		
五								角		
六				歩	歩					
七	歩	歩			歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 歩

かなり手強い問題です。条件はこうですね。

●??、?金、??、??、2X?不成、??、?歩、??、2X? まで

今回も一番のヒントは5手目の不成ですね。5手目に指せる2筋の不成は22角不成と24角不成だけ。さて、そうするとこの角と連携するもう1枚の攻め駒は?

答えは最終形がどうなるのか考えると見えてきます。不成を指した角は2筋にいたので同じ2筋に利きはありません。7手目歩も2筋の敵陣近くに歩打ちは不可能。つまりこの条件下では最後の2筋の手に紐が付けられず、最後は角を打って合い効かずにするしかないのです(飛と桂はそもそも取ることができません)。

さてここで推理将棋の一つの知識。単騎詰め含め角や馬で玉の上から合い効かずにする場合、角がある側の玉腹の塞ぎ方がポイントになります。例えば51玉を15方向から仕留める場合の41地点の塞ぎ方。後手の歩香銀金飛で塞ぐことはできません。42へと直進して合駒できてしまいます。桂も33へ跳ねて合駒もしくは角を取れるのでダメ。唯一後手の駒で玉腹塞ぎに使えるのは角ですが、この場合角は2枚とも先手のものなので品切れ。したがって今回は玉腹を先に存在する先手角で塞ぐ、つまり2筋角のお尻に角を打って詰める形しかありえないのです。

●??、?金、??、??、22角不成、??、?歩、??、23角 まで?

●76歩、?金、33角不成、??、24角不成、??、?歩、??、25角 まで?

上の場合、玉位置は41しか考えられません。42と52と51は全て後手が塞ぐしかないので、こんな手順になります。「76歩、52金左、33角不成、42銀、22角不成、41玉、14角、51金寄、23角不成 まで」。しかし、どう頑張っても7手目が歩という条件は満たせないので今回の解答としては成立しません。

ならば下の順ですが、こちらには大きな問題があります。すなわち「24角不成だと後手角を取

れなくない?」という問題。これを解決できるかがこの上級の最大の関門です。これだけ2筋条件が重なっていますが、何も後手の角を取るのに22地点で取る必要はない、と気づけるかどうか。後手に1手消費して66角と出てきてもらって7手目の歩を使って取る発想の転換が必要なのです。

●76歩、?金、33角不成、??、24角不成、66角、同歩、??、25角 まで

残りは後手の3手だけなので簡単ですね。詰ませてもらうのに必要な「62を塞ぐ」「玉を52へ上がる」「43の歩をどかす」の3手を条件に合うように当てはめて手順完成です。

それではみなさんの短評をどうぞ。

NAO 「条件文では表現を統一したかったが、手順を重視しました。7手目の難易度はどの程度でしょうか。」

■6手目とセットでいきなり着手がこっちへ飛ぶとは考えにくく、なかなかの難手かと。

渡辺 「これも知っている形なので第一感でした。」

■解きにくいとはいえ有名な形ですしね。

諏訪冬葉 「7手目の歩の意味と限定法を考えたら『駒を取る』という結論に落ち着いて解決しました。」

■初級のような中段玉に対して歩を突く場合もありますけどね。

斧間徳子 「この詰め筋は以前創作したことがあった(15角+16角でしたが)ので、すぐ解けましたが、確かにこの最終形を知らないと難問になりそう。『7手目が歩』が解図のキーとなる条件ですね。」

■無駄手だとすると限定できませんし、どういう意味を見出すかですね。

はらたつ 「24角生66角のやりとりが凄い。」

■ 実戦だったら見ている人全員啞然でしょうね。

星の平原 「7手目の『歩の手』の意味がつかめず、9手の過去問のデータベースのお世話になりました。8-3 対向射線！？（橘圭伍さん作）の筋でしたね。『歩の手』が直接詰みに関わるのではなく角入手と六手目限定のためという間接手として使われるとはなるほどのミスディレクションでした。」

■ こういう手を条件にされると本当に見えにくいです。

やまかん 「これは7手目の歩が最大のポイントでした。普通に考えると75歩くらいかなと思っただけいろいろやってみましたがどうしても駄目で試行錯誤してるうちに6手目に角を捨てる手を閃いて解決。この瞬間が解図やってうれしいときですね。やはり慣れてないと66角なんかは見えにくいですね。」

■ 詰将棋では攻め方に駒を渡すためのタダ捨てはありませんからねえ。協力詰でも王手義務があるのでここまで露骨な手は見ませんし。

占魚亭 「2枚角の詰上りは分かっているのに、角の入手法が分からず苦労しました。角の自殺だったとは……。」

■ 1手損する気がして抵抗ありますよねえ。

宮谷保可楽 「5手目22角生だとばかり考えていたので、24角生～66角がなかなか見えなかった。詰上がりは2本の角ビーム。」

■ 最近気がついたのですが、この平行角の詰め上がりは意外とバリエーションが豊富なのです。オフレココメントについては、その通りです、とだけ。

隅の老人B 「7手目、どの歩を突くかで悩みます。解けて成る程、これが推理将棋の醍醐味ですね。」

■ 全くその通りですね。

平井康雄 「これは参った。最終ヒントがなければ絶対に解けません。5手目は22角生以外が

あるとは到底思えませんから……。攻方歩の意味がさっぱりわかりませんでした。突然の詰上がりにもビックリ。」

■ 24角不成は25角までが見えていないとかなり指しづらい手であることは間違いありません。

たくぼん 「7手目歩に頭を捻る。26歩、27角を考えたが全然だめ。66角が上手いなあ。」

■ 72玉を詰ませる狙いですか。53歩を処理するのに手間がかかってしまって失敗ですね。

変寝夢 「調子に乗って手を出しましたが、ギブアップ。7手目までの先手の着手は大体決まりなのだが……。」

■ 5手目7手目が正しく読めていたならあと1歩でした。

枡彰介 「締切前ヒントが出てもしばらく分からなかった。某会長が対コンピューター相手に研究していた2手目△62金の本が目に入った時に閃きました。」

■ 推理将棋だと62金や62銀はもはや手筋ですね。

はなさかしろう 「こちらも取らずに要所に引く24角不成がポイントでした。抵抗感があって面白いですね。7手目を桂、銀、飛にすると6手目の成生限定が必要なところを技ありの歩です。解図はこの歩の手からの裏推理。意地悪な味のある上級問題でした。」

■ よほど経験がないとこれがすんなりは出てこないでしょう。

鈴木康夫 「9手で筋違い角の詰上がりがあるのは知っていましたがこのような角入手の方法があるのは知りませんでした。」

■ 8手でも▲66角△同角という手順ならありますね。角を取る手に別の意味が存在しないという点ではこちらの方が1つ上ですが。

S.Kimura 「24角不成や66角はヒントが出る前に気付いていたのですが、2手目に41の金

を動かしていたので詰む形が見えませんでした。」

■なるほど。そこでハマりうるというのは想定していませんでした。

チャンプ「7手目の歩???この条件に沈黙すること3分・・・なるほどそういうことですか。『7手目に飛』なら悩まなかったのに!おっと、それだと条件が増えてしまいますね(笑)」

■飛は飛でどう敵陣で使うか悩みそう。

-----  
正解：19名

S.Kimuraさん 斧間徳子さん 鈴木康夫さん  
隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん  
たくぼんさん 橋圭伍さん チャンプさん  
テイエムガンバさん NAOさん はなさかし  
ろうさん はらたっとさん 平井康雄さん  
星の平原さん 枡彰介さん 宮谷保可楽さん  
やまかんさん 渡辺さん

-----  
総評

渡辺「94問題はさすがに簡単ですね。1題は自作でしたが他の作品も自作の手順を思い出すのと変わらない時間で出来ました。」

■さすがは9手マイスター渡辺さん。

諏訪冬葉「今回の回答は自己最速記録です」

■すばらしい。もう少し難しくてもよかったのかな?

はらたっと「今回の94問題は何故だか相性抜群でした。たまたまだと思います。。。」

■いえいえ、きつとはらたっとさんの実力が向上したということ。

星の平原「上級は出題時のコメントにあったとおり相当な難問でした。次は追加ヒントもデータベースの助けも借りずに完答したいと思いま

す。今回過去問を相当数解いたので次に役に立つはず(と思いたいw)。」

■9手だとかなり基本手筋は網羅できますしね。

やまかん「推理将棋初解答します。解答時間はそれぞれ3分、10分、45分くらいでした。推理将棋やら他のパズルまで手を出すと時間がいくらあっても足りないかと思ひ今まで全くスルーでしたがやってみるとそれなりに面白いですね。今後は解答募集された作品は(選ばれて良いものが多いと思うので)なるべく解いていこうと思います。」

■初解答で上級45分は素晴らしい。初級中級だけの解答をされる方も多いので、今後も解けたところまででもぜひご解答ください。

橋圭伍「詰め形が想定可能なんで全題合わせて5分以内。軽い頭の体操でした」

■は、速い!?

宮谷保可楽「今月はなぜか、追加ヒントなしで解けてしまいました。秋の椿事です。」

■9手詰なのでだいたいどこかで見た手順だから、というのものもあるかもしれません。

隅の老人B「夜、床に横たわって推理将棋を考える何処かで虫の音、ようやく秋の気配あり。3題が解けて、涼風来る、さあ寝るかな、です。」

■台風もたくさん来て秋の気候になったことを実感しますね。

平井康雄「1、2は最初の日にわかりましたが、3は最終ヒントが出るまでさっぱりわかりませんでした。完全にお手上げでした。」

■2枚角の詰め上がりは頻出です、というか1筋2筋あたりからトドメを指す場合ほとんどがこれという話も。覚えておくといいかもしれません。

変寝夢「同じ9手でもこんなに違うのかと再認識しました。」

■これでも「あー、なんか角を使う手順に偏ったなあ」と思っていたのですが（笑）

枘彰介「約4年ぶりくらいに解答を出しました。機会があればまた挑戦したいです。」

■4年というところかなり初期の頃ですよ。担当がタラパパさんどころかミニベロさんだった時代でしょうか？

はなさかしろう「9月4日の94問題ですね。練習問題も楽しかったです。ところで、94問題に限らず、9手以下で今どこまでの難問ができるのでしょうか。」

■現存する問題で一番難しいのは、渡辺さんの嘘つき問題じゃないでしょうか。条件のうち1つが嘘である、というやつ。

鈴木康夫「一般の汎用の推理将棋ソルバは難しいのですが、94問題専用なら汎用ソルバなら作れそうです。他の問題に忙しくてなかなか着手できないのですが余詰検討の役に立てる日が来ればよいのですが。」

■そういえば機械検討向きの条件付けですよ、この形式。

推理将棋第59回出題全解答者： 20名

S.Kimuraさん 斧間徳子さん 鈴木康夫さん  
隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん  
たくぼんさん 橘圭伍さん チャンプさん  
テイエムガンバさん NAOさん はなさかし  
ろうさん はらたっとさん 平井康雄さん  
変寝夢さん 星の平原さん 枘彰介さん 宮谷  
保可楽さん やまかんさん 渡辺さん

## 解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

## 11月15日(木)

### 第46回 WFP 作品展

フェアリー作品 10作

### Fairy of the Forest#33

協力詰 7作

## 12月15日(木)

### 第47回 WFP 作品展

フェアリー作品 10作

## 作品募集一覧

### おぼかなフェアリー詰将棋

作品要件：ユーモア溢れるおぼかなフェアリー詰将棋（手数、ルール等は自由。独自のルールや独自のフェアリー駒使用もOK。推理将棋、プルーヴゲームもOK）

締切：平成24年11月15日（木）

投稿先：たくぼん takuji@dokidoki.ne.jp  
（詳細は51号P9参照）

\*\*\*\*\*

### 【あとがき】

今月は珍しくフェアリー詰将棋創作に明け暮れています。氾濫応募創作です。fmの力をかなり借りて頑張ってますが、なかなかfmが使いこなせない。七郎さんに使い方を教わりながらの悪戦苦闘です。fm虎の穴の再開に期待しています。

たくぼん

2012年 第52号

## Web Fairy Paradise

非売品

平成二十四年十月号

平成二十四年十月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先 takuji@dokidoki.ne.jp